

自動車運転の基本

1」その場の状況に合った速度に変化させる事。

テレビの交通事故ニュースなどで「ハンドル操作の誤りにより……」などと云う事がありますが、ほとんどの場合その場の状況に速度が合っていなかった事(状況より速度出過ぎ)が事故の原因と思われます。

第1に速度の適切さが大切で、次に大切な物がハンドルと考えたほうが良い様です。決してハンドルがいい加減でいいわけではありません。

ただ、人間は手よりも足が不器用な為、初心者は「足がそのまま」(速度そのまま)「手で何とかしよう」としすぎるのです。

「自動車の運転は足の変わり」です、まず足で器用に速度を変えられる速度のコントロールが出来るようになって下さい。

2」次に大切なのがハンドルです。

ハンドルの基本は、自分がどこへ行きたいのか(目標へ向かって進ませる)意識が大切です。自動車の運転は、その場に合った速度で、どこへ向かって進ませるか

「速度と方向」この2ツに集約できます。

初心者はハンドルを回す事に熱中して「どこへ向かって進ませるべきか」がどうもおろそかになってしまいがちです。

3」他の車両とのコミュニケーション

上記の「速度のコントロール」と「方向性のハンドル」を基本に周りの車両とのコミュニケーションがとれる事が必要です。

「あなたが、そうするなら私はこうするネ」

「自分がそうするんだッたら、相手はこうなるサ」 など

言葉にならないコミュニケーションのやり取りを感じて「速度のコントロール」と

「方向性のハンドル」「ウインカー」などで自分の行きたい方向や行動を相手

(まわりの車に)に出来るだけ解りやすくしてあげることです。

ですから急な行動は出来るだけしないで済むように、目先ばかり見ずに広く自分が進むべき先の状況がどうなっているか気にしてほしいのです。

そして、第1に「速度のコントロール」「ハンドルは第2」と考え周りとのコミュニケーションをはかり運転します。

周りとのコミュニケーションはその状況で「自分と相手のどちらが先に行くのか？」と考えることです。

「どちらが先にゆくか？」の為の「速度のコントロール」が絶対に必要です。

コミュニケーションがなければ誰もいない広い野原のようなところでしか走れません。